

オンライン家庭学習システム構築に向けた研究

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校

中学1～3年生 全教科

オンラインで課題を配布することにより、取り組み状況が可視化できたり、集計も自動で行えたりすることで、授業評価に活かしたり、翌日の授業で内容の補足説明をしたりすることができた。今後も、本取り組みを通して見えてきた成果や課題等については、教員間で共有し生徒の実態に合わせて改善していく。

◆概要◆

新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、非常時に備え、遠隔・オンライン教育やICT等を活用した『学びの保障』に向けた準備を講じる必要がある。臨時休業等で登校できない場合においても児童生徒の学びを止めないようデジタル教材によるオンライン家庭学習システムを導入し、その活用方法や効果的なシステムの在り方等について研究を進めていく。

◆活用した ICT 機器等◆

パソコン室PC (Windows OS) 大型テレビ スクリーンキャスト
マイクスピーカー Google Classroom

◆活用の様子◆

1 教材の準備

Google アカウントの取得とパスワードの設定等を行い、アカウント配布の準備を行った。また、教員研修を実施し、スクリーンキャストを用いた授業の仕方や、Google Classroom での課題の作成と集計の方法、Meet によるビデオ通話の方法などについて学び、実際の活用に向けて準備を行った。



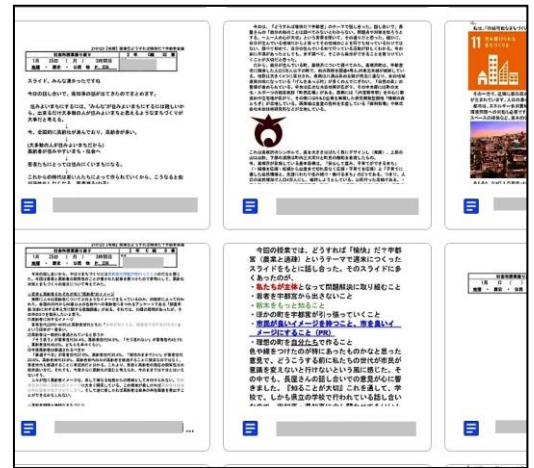
2 アカウント配布と利用法の説明

Google アカウントを生徒に配布し、Classroom に慣れるために、実際に Classroom にログインして体験させた。課題の提出の仕方や Meet を利用したテレビ通話のやり方を体験させながら、利用上の注意を説明しネットリテラシーについても考えさせることができた。



3 課題の配布、学習内容の理解度の把握

Google Classroom で課題の配布と回収を行った。課題の提出状況を簡単に確認できるため、理解度の把握もしやすく、次の授業での内容補充などに活かすことができた。また、データでの提出のため、教員は編集や集計、評価といった作業も容易に行うことができた。



4 課題の発表

課題を提示し、課題に対する生徒それぞれの意見を、Classroom 内に用意した共同編集、同時入力のできる1つのスライドにまとめさせた。授業ではそのスライドを、スクリーンキャストを用いて大型テレビに表示することで、クラス内で議論することができた。



5 資料掲載による共有化

授業で用いた資料などを Classroom にアップロードすることで、家庭でも授業内容を振り返ることができるようにした。これにより、欠席者なども授業へのかかわりが可能となった。



◆成果と課題◆

- Google Classroom により簡単に課題の配布をすることができ、提出すると自動で集計されるため、次の授業にも活かすことができた。
- 学校外で作業が可能で、またデータが共有化され共同編集ができることから、ほかの生徒の意見も参考にしながら課題を行えるため、生徒同士の学び合いが図られた。
- 遠隔で話し合いができるため、集団で一斉に活動ができない時や、今後のリモート授業などでも活用できる。
- ▲ 生徒の ICT 機器操作の習熟度や、家庭でのネット環境などに差があるため、生徒全員が利用できるようにするためにはさまざまな問題をクリアしなければならない。
- ▲ 現段階ではタブレットは導入されていないので、生徒の Classroom の利用はあくまで任意である。タブレットの導入後は、より多くの場面で積極的に利用していくことになる。そのためには、授業内やリモート授業での効果的な活用法など、教員の研修や会議などがさらに必要になる。